

市民活動と言っても…「やっていることが違う」。「組織が異なる」。「状況が違う」。そんなバラバラなもの同士、集まっても仕方がない…?そんなことはありません。

2月14日(水)伊達市市民活動支援センターは“あつまれ「だてな活動」～SDGsでつながりが見えてくる”を開催します。SDGsを手がかりにお互いを知り、つながりを考えてみませんか。SDGsの17の目標を、身近な場面に落とし考えてみると、取り組みのきっかけが案外近くにあること、そして17の目標が互いに関連し合っていることがわかります。

バラバラに見える私たちの活動も、大きな関係性の中でつながっているのです。「で、それって自分に関係あるの?」。もちろん心私たちそれぞれが多様な役割を果たすことで、社会は成り立っています。

今回の企画をきっかけに、様々な人や情報が活発に行き来し、互いに出会いと学びを得る、いわば市民活動のプラットフォームが形成されることを期待しています。自分(達)はもちろん、周りの人も楽しく笑顔にする。そんな活動をしている皆さんの参加をお待ちしています。

【日時】 2024(令和6)年2月14日(水)午後2:00~4:00

【場所】 U-プレイス伊達 伊達市保原町高子岡238番地

【参加者】 教育、福祉、環境、まちづくり…様々な分野で活動する団体・個人の皆さん

【費用】 無料 ※要申込み。

【主催・お問い合わせ】 伊達市市民活動支援センター 024-563-6970

～学ぶ～「SDGsとまちづくり」

講師： 滋賀大学 名誉教授 荒井 壽夫 氏

事例紹介： 学校法人保原シャローム学園 理事長 海老原 嗣 氏

～感じる～ワークショップ「お互いの活動を知り、つながりを感じよう」



こちらからお申し込みいただけます。

あつまれ「だてな活動」SDGsでつながりが見えてくる。2/14参加申込

Check! だてがーる

伊達市の魅力を発信していきます!

メール: dategirl.fukushima@gmail.com  
Instagram: date\_girl5

- PR動画 (2023年12月現在)
◆だてがーるが伊達市のSL乗ってみた!
◆だてがーる伊達鶏食べてみた!
◆だてがーるがあんぽ柿体験してみた!
◆だてがーるin高子ハロハロマーケット
◆だてがーるが「まきばのジャージー」に!
◆だてがーるによる「とみなりジェラート」紹介 など

主にInstagramで伊達市のPR動画を投稿しています。伊達市内であれば「だてがーる」がどこでも駆けつけ、まちのPRやイベント出演などなんでも全力でさせてもらいます。ぜひInstagramをチェックしてみてください。

(070-4743-5077 佐藤)



伊達市市民活動支援センター

〒960-0756 福島県伊達市梁川町青葉町1番地  
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階

月～金曜日(年末年始除く) 午前8時30分～午後5時15分  
※木曜日は午後7時00分まで

TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971

E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp http://www.date-civilsupport.jp/

伊達市市民活動支援センターNEWSのバックナンバーはHPからごらんいただけます。



だてちゃん、伊達市が千葉県白井市と友好交流協定を締結した際に贈られた、伊達市ゆかりのキャラクターです。



2024(令和6)年 1月発行 vol.57  
企画・編集 伊達市市民活動支援センター  
〒960-0756 福島県伊達市梁川町青葉町1番地  
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階  
TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971  
E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp  
http://www.date-civilsupport.jp/

市民活動 いろは 教えて!だてちゃん

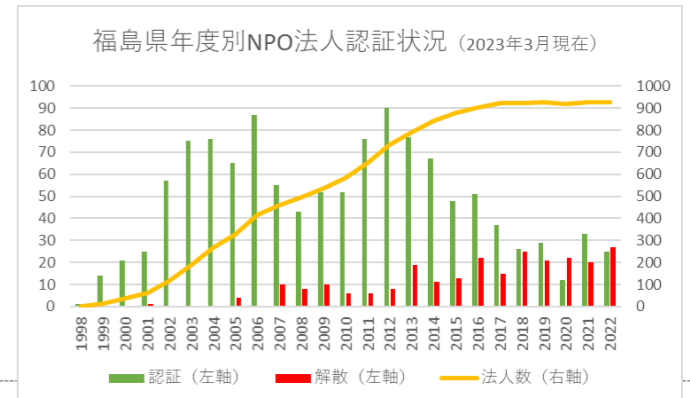
Q. NPO法(特定非営利活動促進法)はいつ、なぜできたんですか?

A. 1995年の阪神淡路大震災がきっかけになりました。

1995年の阪神淡路大震災の発生後、被災地では多くの個人・団体がボランティアとして活躍しました。同年が「ボランティア元年」「NPO元年」とも呼ばれる所以です。その後、災害復興はもちろん、福祉や教育、まちづくりなど、地域の課題に対する自発的な市民活動を推進するために、新たな組織のあり方や法整備の検討が進められました。1998年3月、議員立法で特定非営利活動法(NPO法)が成立。昨年で25周年を迎えました。

これまで認証されたNPO法人数は全国で50,119。福島県では925に上ります(2023年9月現在)。一方、そのうち約3割は既に解散しています(福島県では270)。「運営がうまくいかなかったから」「法人として一

定の役割を果たしたから」。「他の法人格に転換するため」。「高齢化による担い手不足」。解散の理由は様々です。社会情勢の変化や技術革新など、昨今のNPO法人を取り巻く環境の影響を受けて、転機をどう活かすのかが問われているのかもしれない。



QRコードから支援センターHP内の紹介ページにアクセスできます。オリジナルソング「桜の茶臼山」もこちらから!

霊山りんどうコーラス

伊達市霊山町掛田西裏17 (霊山中央交流館)

「楽しく歌う」続けて50年

1973(昭和48)年、掛田小学校PTAの歌好きなお母さん達が、霊山りんどうコーラスを立ち上げました。以来、数々の合唱祭、コンクールへの出場を果たしながら、「楽しく歌う」をモットーに活動を続け、昨年設立50周年を迎えることができました。現在のメンバーは23名。長い人でメンバー歴47年です。

音楽文化の向上と住みよいまちづくり

メンバー間で親睦をはかり、明るく楽しく練習に励むことは、合唱の技術向上のみならず、日々の生活においても意欲をもたらしてくれています。また、コーラスの活動は、地域の音楽文化の向上やまちづくりにも繋がっています。昨年は、設立50周年を記念して、

茶臼山を未来につなごう実行委員会(掛田自治協議会、霊山ライオンズクラブ)の共催で、オリジナルソング「桜の茶臼山」を制作、発表することができました。霊山町出身の作詞家により、町のシンボル茶臼山と春の訪れが美しく謳われ、心に響く一曲になっています。ぜひ、未永く歌い継いでいきたいと思ひます。(090-8920-2138 佐藤)



会員随時募集中  
練習日: 毎週木曜日9:30-11:30  
場所: 霊山中央交流館

～花に心をいやされて 桜美し 茶臼山～

「桜の茶臼山」 作詞 上村セツ子



2023年10月8日



4 質の高い教育をみんなに  
11 住み続けられるまちづくりを

**だてな活動**

## 梁川ざっと昔の会

伊達市梁川町



### 肉声の語りならではの豊かな昔話の世界

1982（昭和57）年、ふるさとのあたたかい言葉で民話を伝えようと、横山幸子さんを中心に地域の女性たちが「梁川ざっと昔の会」を結成し、地元の昔話を積極的に語ってきました。1985（昭和60）年には「梁川ざっと昔かるた」を出版。民話を題材にしたビデオ制作や人形劇の上演など、多彩な活動も展開してきました。2018（平成30）年に会長 横山さんを失い、続く台風19号による浸水被害やコロナ禍のため、やむなく活動を休止しましたが、新しい体制のもとに再開を果たしています。2022（令和4）年には40周年を迎えることができ、新しい会員も加わって、13名が語りの活動を続けています。



新しい会員も加わって、13名が語りの活動を続けています。

“ざっとむかし……”



「梁川ざっと昔かるた」（外箱）

現在、まちの駅やながわ（毎月第3日曜日）と保原中央交流館「まちなか食堂」（毎月第4土曜日）で、お話会を定期開催しています。梁川スクールコミュニティや堰本小学校でも活動していて、堰本小学校では児童による語りも指導しています。私たちの会では、各自が自分の語りたい民話や昔話を覚えて、表現を工夫し、その人ならではの語りの世界を創っています。肉声の語りの豊かな世界を五感で味わう。皆さんも語ってみませんか。楽しいですよ。新会員を募集中です。（024-577-4289 上野）



広報誌「はこふし」PRキャラ



## 伊達川東地区協議会

伊達市伏黒字一本石41-2  
（伊達東地区交流館）

3 すべての人に健康と福祉を  
4 質の高い教育をみんなに  
11 住み続けられるまちづくりを  
17 パートナシップで目標を達成しよう

### だてな活動

#### 住民調査と分科会

2015（平成27）年、地域自治組織・伊達川東地区協議会の発足に先立ち、これからの地域づくりに関する住民意識調査が行われました（住民代表438人対象、アンケート方式）。協議会の4つの分科会（地域振興/地域福祉/生涯学習/防災交通）は、現在もそのアンケート結果を踏まえて活動を続けています。

身近な住環境の課題としてあげられた臭臭問題については、地域振興分科会が継続的に勉強会やモニタリング等を実施しています。また、農地と宅地が混在する私たちの地域では、今後の姿を思い描くうえで、宅地開発と農地保全のありようを知ることが不可欠です。昨年は講座「伊達東の土地利用を学ぶ」を開催し、基礎的な知識を得ることができました。



#### もっと井戸端会議を

昨年夏に創刊した地域ミニコミ誌（広報誌）「はこふし」（年4回発行）では、地域の生活に関わるニュースや、活躍している団体・人、イベント情報などをお知らせしています（伊達川東地区全戸配布、伊達西地区全戸回覧）。地域の皆さんが気になっていること、例えば土地開発や建設事業、行政の計画など、ローカルな情報に、独自の取材で迫っています。地域の皆さんには、この情報誌をネタに、もっと“近所の井戸端会議”をしてもらえると嬉しいです。ぜひ、気軽に交流館に立ち寄って、話をしていってください。（024-583-4646 金子）

箱崎地区&伏黒地区  
・人口：2,901人  
・世帯数：1,159世帯  
（2023年11月末現在）



「子ども見守り隊」着用ベスト

3 すべての人に健康と福祉を  
4 質の高い教育をみんなに  
11 住み続けられるまちづくりを

**だてな活動**

## NPO法人 とっこす

伊達市保原町字竹内町81番地-4



### 子どもの健全育成と地域の再生

NPO法人とっこすは、東日本大震災の翌年（2012年）、子どもの健全育成と地域コミュニティの再生を主な目的として設立されました。当時、子ども達は放射線被爆の恐れにより外遊びが抑制され、屋外で自由に遊べない状況にありました。私たちは、地域のお寺や神社などをお願いをして、屋内の遊び場を提供してもらう活動を中心に行ってきました。2017年からは、伊達市より上保原屋内運動場「スマイルパークほばら」の管理運営を受託しています。スマイルパークの運営や、隣接する農園での農業体験等を通じて、私たちの団体の個性と想いを伝えるべく取り組んでいます。

#### 「とっこす」の想い

「とっこす」という団体名は、「通り越す」という意味の方言に由来します。困難を通り越し、乗り越え、未来につなげる。私たちは、大人と子どもが共生し、

互いに社会の一員としての役割を果たせる住みやすい社会、大人と子どもが協同し笑顔で暮らせる地域づくりを目指しています。地域の皆さんとともに、子どもたちの小さな挑戦を応援し見守る、ステキな場所の実現に励んでいきたい。そして、そんな私たちの活動の輪が少しずつ広がって、参加する子どもたちが伊達市を愛し、仲間と寄り添い、時代にあった地域づくりを考える大人へと成長してくれることを心から願っています。（024-575-2177 佐藤）



場所：月館中央交流館  
日時：毎月第3土曜日  
13:30-15:30

## 交流サロン かがやき

伊達市月館町

3 すべての人に健康と福祉を  
11 住み続けられるまちづくりを

### だてな活動

#### 地域サロンの先駆け

有志が集い、地域で仲間づくりやふれあいの機会を作って楽しむサロン。今は市内でも多く活動するようになりましたが、私たちはその先駆けを自任しています。活動開始は2008（平成20）年4月。高齢者支援を柱に、講演会やコンサート、年中行事など、月館町全域を対象に様々な活動を続けてきました。コロナ禍のもとでは半年間の休止を余儀なくされましたが、月1回、土曜日の午後にお茶と雑談を楽しむサロンを再開しています。参加者は10数名。いつもサロンを心待ちにしてくれています。受け入れ側のスタッフも、仕事や他の活動、家事や介護等の合間をぬって集まり、それぞれの個性や特技を生かして運営に携わっています。



#### 支え、支えられる

参加者の皆さんにとって、サロンは心の置きどころであり、唯一の楽しみとも言ってくださいます。スタッフにとってはその言葉が励みとなり、逆に支えられるお互いさまの関係です。最近は、先頭に立つ人がいない等の理由で、活動を停止するサロンも増えているそうです。やむを得ない事情もあるでしょうが、社会との接点を維持するうえで大変残念です。私たちはこれまでも、近隣のサロンと交流しながら広域で活動してきましたので、困っているサロンがあれば受け皿になりたいと思っています。問題は、高齢の参加者の皆さんのアシ（交通手段）。どなたかお知恵を貸していただきませんか。（090-5352-1082 佐藤）

